

デーリー東北

2021年(令和3年)10月23日(土曜日) (21)

皂角子橋を見学する参加者



階上

町管理の橋 老朽化対策は

八学大生ら
現場見学会

階上町はこのほど、老朽化対策などを行っている町管理橋梁の現場見学会を開いた。町職員と八戸工業大の長谷川明名教授や大

学生、長谷川さんが会長を務める寒冷地小規模橋梁研究会の会員企業の社員ら約10人が参加。町内五つの橋を見学し、現状や管理法について考えを深めた。町が連携協定を締結している同大からの依頼を受けて実施。橋の老朽化は全国的な課題となっており、町でも定期点検や工事によっ

て安全に留意している。

本年度工事を進めている同町金山沢の皂角子橋(長さ5・1㍎)では、コンクリートの剝離といった損傷状況などを参加者が目視で確認した。

同大工学部土木建築工学科4年の榎谷みなみさん(22)は「現在よく使われる材料と過去に使われていた物が異なっており、興味深い」と熱心に観察した。

中村唯愛さん(22)は「来年から橋の維持管理に携わる仕事に就くので、各自治体が抱えるインフラの課題に対応していきたい」と話した。

(佐々木祐紀)

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。